

## 食品安全委員会の11月の運営について

### 1. 食品安全委員会の開催

#### 第308回 11月5日（木）

##### (1) 食品健康影響評価の要請

- 以下の案件についてリスク管理機関から説明

遺伝子組換え食品等 (2品目)	除草剤グリホサート耐性ピマワタMON88913系統（食品・飼料）、チョウ目害虫抵抗性ピマワタ15985系統（食品・飼料）
--------------------	--

##### (2) 各専門調査会における審議結果についての報告

- 各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

農薬専門調査会 (1品目)	メプロニル
------------------	-------

##### (3) 食品健康影響評価

- 以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

農薬(1品目)	クロルフェナピル
遺伝子組換え食品等 (3品目)	GLU-N <sub>0</sub> . 2株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム、PHE-N <sub>0</sub> . 2株を利用して生産されたL-フェニルアラニン、チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMIR162系統

##### (4) 食品安全委員会の10月の運営について事務局から報告

- (5) 食品安全モニターのメールアドレスの流出について、事務局から事案の経過と公表が遅れた理由、今後の対応として個人情報の管理及び速やかな報告を徹底することについて報告があり、委員長からおおびと今後の情報管理及び速やかな報告を徹底していく旨の発言があった

#### 第309回 11月12日（木）

##### (1) 食品健康影響評価の要請

- 以下の案件についてリスク管理機関から説明

添加物（1品目）	フェネチルアミン
----------	----------

##### (2) 各専門調査会における審議結果についての報告

- 農薬専門調査会から報告された以下の評価書（案）について、再度、農薬専門調査会において検討し、改めて食品安全委員会で審議することとなった

農薬専門調査会 (1品目)	ホルペット
------------------	-------

(3) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

添加物(1品目)	イソペンチルアミン
遺伝子組換え食品等(1品目)	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMIR162系統(飼料)

(4) 「食品安全委員会とリスク管理機関との連携・政策調整の強化について」に基づく管理機関からの照会については、委員会において取り扱うこととし、農薬専門調査会において審議することとなった

(5) 10月29日の第307回委員会会合において「食品健康影響評価の結果に基づく施策の実施状況の調査結果について」報告が行われた際、廣瀬委員より質問があった件について、事務局から報告

第310回 11月19日(木)

(1) 各専門調査会における審議結果についての報告

- ・各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

農薬専門調査会(1品目)	塩酸ホルメタネート
--------------	-----------

(2) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

農薬(1品目)	エトフェンプロックス
---------	------------

(3) 食品安全モニター課題報告「食品の安全性に関する意識等について」(平成21年7月実施)の結果について事務局から報告

第311回 11月26日(木)

(1) 食品健康影響評価の要請

- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明

農薬(1品目)	エタボキサム
動物用医薬品(7品目)	① 豚インフルエンザ・豚丹毒混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン(フルシュアER) ② ツラスロマイシンを有効成分とする豚の注射剤(ドラクシン) ③ ピルビン酸メチルを有効成分とするフグ目魚類の外部寄生虫駆除剤(マリンディップ) ④ 鶏伝染性ファブリキウス嚢病(抗血清加)生ワクチン(バーサ・BDA)の再審査 ⑤ 豚アクチノバシラス・プルロニューモニエ(1・2・5型)感染症・豚丹毒混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン(“京都微研”ピッグウイン-EA)の再審査 ⑥ マイコプラズマ・ハイオニューモニエ感染症(カルボキシビニルポリマーアジュバント加)不活加ワクチン(レスピフェンドMH)の再審査 ⑦ 鶏コクシジウム感染症(ネカトリックス)生ワクチン(日生研鶏コクシ弱毒生ワクチン(Neca))の再審査

(2) 各専門調査会における審議結果についての報告

- ・各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

添加物専門調査会 (3品目)	ブチルアミン、フェネチルアミン、ケイ酸マグネシウム
動物用医薬品 専門調査会 (1品目)	フルベンダゾール

(3) 農薬専門調査会から報告された「食品健康影響評価に関する照会について」に係る回答について事務局から説明後、審議した結果、本回答を一部修正の上、厚生労働省に回答することとなった

(4) 食品安全モニターからの報告（平成21年9月分）について、9月中に報告された32件について事務局から報告

(5) 「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成21年10月分）について事務局から報告

## 2. 専門調査会の運営

### (1) リスクコミュニケーション専門調査会

#### 第47回 11月11日（水）

- ・専門委員改選に伴い専門委員の紹介、専門調査会の運営等について説明及び座長の選出
- ・リスクコミュニケーション専門調査会の今後の進め方について議論された

### (2) 添加物専門調査会

#### 第80回 11月17日（火）

- ・「ブチルアミン」、「フェネチルアミン」及び「ケイ酸マグネシウム」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定

### (3) 農薬専門調査会

#### 第35回 総合評価第二部会 11月6日（金） ※非公開

- ・「TCMTB」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、幹事会に報告することを決定

#### 第57回 幹事会 11月13日（金）

- ・「プロピリスルフロロン」、「塩酸ホルメタネート」及び「イソキサフルトール」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定
- ・メソトリオンに係るリスク管理機関からの照会に対する回答（案）について審議され、一部修正の上、食品安全委員会へ報告することを決定

- ・国民からの御意見・情報の募集期間中に、ピリミノバックメチル評価書（案）に対して寄せられた御意見について検討した結果、回答（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定
- ・国民からの御意見・情報の募集期間中に、1-メチルシクロプロペン評価書（案）に対して寄せられた御意見について検討した結果、回答（案）及び評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定
- ・国民からの御意見・情報の募集期間中に、グルホシネート評価書（案）に対して寄せられた御意見について検討した結果、回答（案）及び評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定
- ・ホルペットについて、評価に必要なため、農薬抄録と試験報告書の確認を申請者に依頼することとなった

#### 第36回 総合評価第一部会 11月25日（水） ※非公開

- ・「アセフェート」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、幹事会に報告することを決定
- ・「ピリベンカルブ」について調査審議し、継続審議となった

#### （4）動物用医薬品専門調査会

##### 第118回 11月30日（月）

- ・座長代理に寺本専門委員を指名
- ・「クロルスロン」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定

##### 第119回 11月30日（月） ※非公開

- ・「アセトアミノフェン」について調査審議し、継続審議となった

#### （5）器具・容器包装専門調査会

##### 第7回 生殖発生毒性等に関するワーキンググループ 11月12日（木）

- ・ビスフェノールAに関する最近の文献について、評価書（案）の本文に追記が必要なものと評価書の補遺として一覧表に記載するものの仕分けを行った
- ・ビスフェノールAの評価書（案）について、事務局から説明が行われ、次回ワーキンググループまでに記載内容を精査し、修正、追記等を行うこととされた

#### （6）微生物・ウイルス専門調査会

##### 第8回 11月2日（月）

- ・専門委員改選に伴い専門委員の紹介、専門調査会の運営等について説明及び座長の選出
- ・食品中の微生物に関するリスク評価の国際動向について、春日専門委員及び豊福専門委員による講演が行われた
- ・リスクプロファイル（食品中のノロウイルス）の更新案について審議の結果、一部修正の上、食品安全委員会に報告することが了承された
- ・薬剤耐性菌の食品健康影響評価の進め方の改正案が了承された

## (7) プリオン専門調査会

### 第61回 11月4日(水)

- ・食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価(我が国に輸入される牛肉及び牛内臓に係る食品健康影響評価)に関して、各国政府に送付した質問書に対する回答及び資料整備の進捗状況について事務局から説明後、コスタリカ、ホンジュラス、パナマの評価書(案)たたき台及びに評価手法案の機械的回収肉の項目について審議
- ・豚由来たん白質等の飼料利用に係る食品健康影響評価(府食第975号平成19年10月4日)における魚へのTSE(伝達性海綿状脳症)の伝達性に関連して、最近公表された文献(「ゴウシュウマダイへのBSEとスクレイピーの伝達性の検討」)について審議を行った結果、現時点では不明確な点も多いことから、引き続き関連情報の収集に努め、新たな知見が出てきた場合に改めて検討することとなった

### 第62回 11月20日(金)

- ・食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価(我が国に輸入される牛肉及び牛内臓に係る食品健康影響評価)に関して、各国政府に送付した質問書に対する回答及び資料整備の進捗状況について事務局から説明後、評価書(案)(オーストラリア、メキシコ、チリ、コスタリカ、パナマ、ニカラグア、ブラジル、ハンガリー)に基づき審議を行い、一部修正の上、食品安全委員会へ報告することを決定
- ・バヌアツ評価書(案)たたき台について審議

## (8) 遺伝子組換え食品等専門調査会

### 第76回 11月16日(月) ※非公開

- ・「除草剤グリホサート耐性ピマワタMON88913系統(食品・飼料)」及び「チョウ目害虫抵抗性ピマワタ15985系統(食品・飼料)」について調査審議し、指摘内容を確認の上、評価書(案)を了承することとなった
- ・「乾燥耐性トウモロコシMON87460系統(食品・飼料)」について調査審議し、継続審議となった

## (9) 肥料・飼料等専門調査会

### 第33回 11月20日(金)

- ・「ホスホマイシン」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定

## 3. 意見交換会等の開催

### (1) 意見交換会

「食品のリスクを考えるワークショップ(徳島)～どう思う?食品添加物～」

11月6日(金) <徳島県徳島市>

- ・徳島県及び厚生労働省との共催により開催
- ・グループワーク1では、参加者がグループに分かれゲーミングシミュレーション『クロスロード』を実施

- ・グループワーク2では、食品添加物の制度についての解説を受けた後、さらに深く知りたいことや、わからなかったことなどをグループで整理
- ・意見交換会では、グループワークで行った内容の発表を受け、コメンテーターからは食品添加物のリスクとその制度管理についてや、徳島県での取組状況などを中心に解説し、参加者との質疑応答を実施
- ・グループワーク3ではワークショップのふりかえりとして、食品添加物について、一番印象に残ったことなどをグループで話し合いを行った
- ・また、グループワークの際には、平成19年に徳島県で開催した「食品の安全性に関するリスクコミュニケーター育成講座」の受講者に、各グループの世話役として参加していただき、育成講座で学んだファシリテーションを実践

#### ジュニア食品安全委員会@岐阜

11月5日（木） <岐阜県各務原市>

- ・岐阜県との共催により開催
- ・立川島小学校で、学内授業参観に合わせ、4年生の「学級活動」の中で、食品安全に関するクイズを実施

#### ジュニア食品安全委員会@おかげ

11月28日（土） <愛知県岡崎市>

- ・岡崎市との共催により開催
- ・食品安全委員会野村委員から食品の安全性についての短いレクチャーの後、食品安全に関するクイズ、意見交換を実施

#### (2) 食品の安全性に関するリスクコミュニケーター育成講座（ファシリテーター型）

11月10日（火） <広島県広島市>

11月19日（木） <高知県高知市>

- ・午前は、内閣府食品安全委員会事務局が制作した、リスク分析と食品安全委員会の役割について説明したDVD上映と、ファシリテーションの基礎知識に関する講義の後、参加者がファシリテーションの基本的なスキルのいくつか（傾聴など）について、実習を行った
- ・午後は、参加者がグループに分かれ、アイスブレイクをした後、ワークショップのいくつかの手法を体験

#### (3) 講師等派遣

- ・地方公共団体企画や各種団体企画の講演会等へ委員が講師として参加した

月 日	講演会名	対応委員
11月6日	東京都計量検定所計量講演会	畑江委員
11月11日	熊本県 平成21年度第1回食の安全セミナー	廣瀬委員
11月15日	(社)宮崎県栄養士会新生涯学習研修会	見上委員
11月21日	第57回日本職業・災害医学会学術大会	小泉委員長
11月27日	日本環境変異原学会 38回大会	廣瀬委員

#### (4) その他

##### 11月27日（金） 平成21年度全国食品安全連絡会議

- ・ 136自治体（47都道府県、66保健所設置市及び23特別区）を対象とした平成21年度全国食品安全連絡会議を開催
- ・ 食品安全委員会リスクコミュニケーション専門調査会唐木専門委員より「食の安全と消費者の不安」についての講演、食品安全委員会よりリスクコミュニケーションの新たな取組や子供を対象とした取組についての情報提供、消費者庁消費者安全課より消費者事故等に対する取組の紹介を行い、意見交換を実施